



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,118	△39.3	△2,710	—	△2,899	—	△2,061	—
2019年3月期第2四半期	28,197	△20.7	4,343	△46.1	4,628	△47.9	3,312	△49.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △3,384百万円( —%) 2019年3月期第2四半期 4,757百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△58.06	—
2019年3月期第2四半期	90.73	90.71

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	139,127	116,900	84.0
2019年3月期	145,146	121,166	83.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 116,860百万円 2019年3月期 121,132百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	25.00	55.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期(予想)			—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	40,000	△22.1	△3,600	—	△3,500	—	△2,400	△67.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	36,600,000株	2019年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,088,603株	2019年3月期	1,088,459株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	35,511,462株	2019年3月期2Q	36,511,897株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では堅調な雇用環境に支えられ拡大基調を維持しているものの、製造業景況指数が悪化するなど先行き不透明感を抱えており、欧州においても景気下振れリスクが懸念される不安定な状況となっています。中国においても米国との貿易摩擦が長期化する中で減速傾向を強めており、わが国においても世界の景況感の悪化が影響し製造業の生産活動に足踏みが見られます。

当社グループが製品を供給するアパレル産業においては経済環境の先行き懸念とともに、環境への負荷軽減という課題がクローズアップされ、商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが顕著になっております。

このような状況の中、中国、バングラデシュ、ベトナムなどのアジア地域のOEM型生産工場を中心に大量生産型のコンピュータ横編機の設備投資が低調となり、期初想定を超える大幅な売上高の減少となりました。また設備投資マインドの低下は近年中国市場を中心に順調に拡大していたホールガーメント横編機の投資にも影響し、販売台数が減少しました。

欧州でも主力産地のイタリアにおいてコンピュータ横編機の販売が低調な推移となりました。また欧州アパレル向けの生産拠点である中東のトルコにおいては通貨安の影響で輸出の伸びは見られるものの、金融引き締めの影響により設備投資の拡大にはおよびませんでした。

国内市場においてはコンピュータ横編機の売上高は前年同期並みとなりました。これらの結果、横編機事業全体での売上高は119億17百万円（前年同期比45.7%減）と大幅な減少となりました。

デザインシステム関連事業においては、自動裁断機「P-CAM」は前年同期並みの売上げとなりましたが、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX3」は横編機事業の不振に連動して販売台数が減少し、事業全体の売上高は17億80百万円（前年同期比4.6%減）にとどまりました。

手袋靴下編機事業では大手ユーザーの設備更新が進まず、売上高は4億4百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

その他事業につきましては部品販売やニット製品販売が減少したことなどにより、売上高は30億14百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は171億18百万円（前年同期比39.3%減）となりました。利益面におきましては、売上高が大きく減少したことに加えて、販売単価の下落や工場操業度の低下で売上総利益率が悪化したことや、貸倒引当金繰入額の増加、開発試験研究費の増加などがあり、営業損失27億10百万円（前年同期は営業利益43億43百万円）の計上となりました。また営業外において為替差損5億42百万円の計上などがあり、経常損失は28億99百万円（前年同期は経常利益46億28百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は20億61百万円（前年同期は純利益33億12百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は受取手形及び売掛金の減少などで前連結会計年度末に比べ60億19百万円減少し、1,391億27百万円となりました。負債合計は買掛債務の減少などで前連結会計年度末に比べ17億52百万円減少し、222億27百万円となりました。また自己資本の額は、1,168億60百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント上昇し84.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の減少などで17億43百万円の資金の増加（前年同期は47億57百万円の資金の増加）となりました。投資活動においては有形固定資産の取得による支出などにより14億91百万円の資金の減少（前年同期は18億59百万円の資金の減少）となりました。また財務活動におきましては配当金の支払いなどにより12億79百万円の資金の減少（前年同期は15億96百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて14億8百万円減少し、254億40百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月21日に発表しました2020年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,920	25,534
受取手形及び売掛金	56,784	52,891
商品及び製品	11,821	10,590
仕掛品	793	1,114
原材料及び貯蔵品	6,673	6,782
その他	1,854	1,346
貸倒引当金	△1,993	△2,523
流動資産合計	102,854	95,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,121	7,042
土地	11,665	12,068
その他（純額）	6,792	6,990
有形固定資産合計	25,579	26,101
無形固定資産		
のれん	2,987	2,711
その他	364	377
無形固定資産合計	3,352	3,089
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	7,772
退職給付に係る資産	1,156	1,218
その他	6,917	7,808
貸倒引当金	△2,547	△2,597
投資その他の資産合計	13,361	14,201
固定資産合計	42,292	43,392
資産合計	145,146	139,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,484	1,651
電子記録債務	520	373
短期借入金	8,879	8,633
未払法人税等	168	204
賞与引当金	1,176	1,432
債務保証損失引当金	342	404
その他	5,391	4,551
流動負債合計	18,962	17,252
固定負債		
長期末払金	993	974
リース債務	2,861	2,888
退職給付に係る負債	725	728
その他	436	383
固定負債合計	5,017	4,974
負債合計	23,979	22,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	25,867	25,867
利益剰余金	91,440	88,491
自己株式	△3,743	△3,743
株主資本合計	128,424	125,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	16
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△770	△2,005
退職給付に係る調整累計額	418	377
その他の包括利益累計額合計	△7,292	△8,614
新株予約権	19	25
非支配株主持分	14	14
純資産合計	121,166	116,900
負債純資産合計	145,146	139,127

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	28,197	17,118
売上原価	14,591	10,832
売上総利益	13,605	6,285
販売費及び一般管理費	9,261	8,995
営業利益又は営業損失(△)	4,343	△2,710
営業外収益		
受取利息	86	151
受取配当金	104	91
その他	344	255
営業外収益合計	535	498
営業外費用		
支払利息	161	91
為替差損	22	542
その他	66	52
営業外費用合計	250	686
経常利益又は経常損失(△)	4,628	△2,899
特別損失		
代理店解約損	25	-
特別損失合計	25	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,602	△2,899
法人税、住民税及び事業税	1,144	149
法人税等調整額	144	△986
法人税等合計	1,289	△837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,313	△2,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,312	△2,061



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,313	△2,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△46
為替換算調整勘定	1,522	△1,234
退職給付に係る調整額	△29	△41
その他の包括利益合計	1,444	△1,322
四半期包括利益	4,757	△3,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,757	△3,384
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 (又は税金等調整前四半期純損失)	4,602	△2,899
減価償却費	1,084	1,184
のれん償却額	200	197
貸倒引当金の増減額(△は減少)	289	723
賞与引当金の増減額(△は減少)	529	257
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△93	△109
受取利息及び受取配当金	△190	△243
支払利息	161	91
為替差損益(△は益)	349	△185
売上債権の増減額(△は増加)	6,698	2,556
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,111	451
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△162	295
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,045	△166
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,087	△748
その他	74	229
小計	7,298	1,635
利息及び配当金の受取額	189	240
利息の支払額	△167	△92
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,563	△39
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,757	1,743
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△221	△41
定期預金の払戻による収入	230	16
有形固定資産の取得による支出	△1,246	△1,318
有形固定資産の売却による収入	12	2
投資有価証券の取得による支出	△504	△30
その他	△131	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△1,491
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△318	△391
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△1,276	△886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,596	△1,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	293	△381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,594	△1,408
現金及び現金同等物の期首残高	24,223	26,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,818	25,440

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が連結決算日と異なるSHIMA SEIKI U.S.A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. および SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U. の3社については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

なお、当該子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの売上高は4億32百万円、営業損失は41百万円、経常損失は43百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,933	1,866	829	24,629	3,567	28,197
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,933	1,866	829	24,629	3,567	28,197
セグメント利益	6,278	423	163	6,864	650	7,515

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,864
「その他」の区分の利益	650
全社費用(注)	△3,171
四半期連結損益計算書の営業利益	4,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間は2018年1月1日から2018年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,917	1,780	404	14,103	3,014	17,118
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,917	1,780	404	14,103	3,014	17,118
セグメント利益又は 損失(△)	152	33	△34	151	355	507

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	151
「その他」の区分の利益	355
全社費用(注)	△3,217
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,710

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)に記載のとおり、一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

## 【関連情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
4,132	5,550	2,937	14,855	721	28,197

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,715	3,232	464	9,121	584	17,118

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## ①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	10,832	△49.7%	2,033	△76.4%
デザインシステム関連	1,845	△16.9%	306	△58.1%
手袋靴下編機	751	△18.8%	519	50.6%
合計	13,430	△45.6%	2,858	△70.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	11,917	△45.7%
デザインシステム関連	1,780	△4.6%
手袋靴下編機	404	△51.2%
その他	3,014	△15.5%
合計	17,118	△39.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。